

## 増富ラジウム温泉郷 かけ流しの湯 増富の湯

Masutomi Radium Onsenkyou Kakenagashinoyu Masutominoyu  
(山梨県北杜市)



外観

今回紹介するのは増富の湯である。日本百名山である瑞牆山（みずがきやま 標高 2,230m）と金峰山（きんぷさん もしくは きんぼうさん 標高 2,595m）の麓にある日帰り温泉施設である。すなわち、登山の後の温泉としても重宝できるであろう。両山登山の起点となる富士見平小屋では、温泉の割引券（50 円引き）を配布しているので、登山した人は必ずゲットしておこう。

この施設、厚生労働大臣認定の「温泉利用プログラム型 健康増進施設」の一つであるらしい。何やら仰々しい名称だが、要するに指導員が症状別の入浴方法をアドバイスしてくれるというものだ。自分の症状が気になる人は相談してみよう。

浴室は 2 種類あり、男湯と女湯が日替わりで入れ替わることになっている。一方は「やませみの湯」と称しており、洋風でドライサウナを完備。もう一方は「おこじょの湯」と称しており、和風でミストサウナを完備している。本日取材したのは前者である。

脱衣室には 120 個もの棚が用意されている。洗面台は 7 個、新しいマッサージ椅子も 2 個ある。巨大なキャパシティーだ。

浴室に入ると何やら奇妙なおいがする。抹茶のおいだ。それもそのはず、洗い場に具備されているリンスイシャンプーとボディシャンプーは抹茶入りだ。洗い場は 12 箇所あり、他にシャワーブースが 2 箇所用意されている。

特筆すべきは浴槽である。浴槽は大きく分けて 3 種類。まずは温泉だ。温泉は茶色のごった湯である。この温泉の源泉温度は 25℃らしく、浴槽はこの源泉をそのまま入れた寝風呂が露天風呂になっている。寝風呂は全部で 7 人分だ。加えて内湯には、加温した温

泉が 3 種類用意されている。その温度は 30℃、35℃、37℃ときめ細かく分かれている。4 種類の温度の温泉の中から自分の好きな温度の温泉を選ぶことができるというわけだ。しかも、温度はいずれも低めであり、長湯が可能だ。長湯、それがこの温泉の狙いらしい。長く湯に浸かってもらって、湯治をしてもらう。だからこそ、この温泉が健康増進施設になっているとも言える。

さて、4 種類の温泉の中で最も人気のあるのはどれか。どうやら 35℃の温泉のようである。浸かっている人たちはほとんどが居眠りをしているくらいだ。よほど気持ちが良いらしい。逆に人気がないのは 25℃と 30℃の温泉だ。確かに、体温より低い温泉はあまり気持ち良くないかもしれない。

2 種類目の浴槽は薬湯だ。ヘルスケミカルの健美泉という商品を使っているらしい。この薬湯、10 種類の生薬を配合した本格的なものだ。湯温は 41~42℃と表示されており、温泉に比べればかなり高めだ。実際に、温泉に浸かった後に利用すると熱く感じる。それでも、熱い湯が主流の大江戸銭湯に比べれば、大変低い温度である。これも長湯が可能なのよとの配慮であろう。

3 種類目の浴槽は、無色透明の普通の加温湯である。打たせ湯が 2 箇所、寝風呂が 2 人分、露天風呂にはジャグジーもある。湯温は 39℃くらいであろうか。

さて、露天風呂には奇妙な設備がある。ベッドのような物が 3 人分あり、それぞれの端に打たせ湯のようなノズルが設置されている。増富の湯の説明によれば、本来は額への打たせ湯であつたらしい。しかし、震災後に利用を止めていたら、配管の中が詰まってしまって利用できなくなったとのことである。惜しい。

ドライサウナは薬石サウナとのことだ。薬石を使うことで、遠赤外線とマイナスイオンが出やすくなるという。室内温度は 74℃。珍しく切り株が 5 個椅子代わりに置いてあるので、定員 5 人とすぐにわかる。サウナ内にテレビはない。水風呂もない。

ちなみに、温泉は含二酸化炭素-ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、健康増進、疲労回復、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、高血圧症、動脈硬化症に効くという。

また、薬湯の方は、あせも、うちみ、くじき、荒れ性、肩こり、湿疹、しもやけ、痔、水虫、リウマチ、ひび、あかざれ、ひびくれ、にきび、精神疲労回復に効くという。

尚、増富の湯の周辺にある釜瀬林道は、森林浴をするのにぴったりの場所である。自動車でも、バイクでも、自転車でもいい。川のせせらぎ、鳥のさえずり、木々の緑を全身に受け、リフレッシュできること間違いなしである。自動車の場合は窓を全開にし、ゆっくりと走ろう。また、川遊びも可能と思われる。通過交通は非常に少ないので、排気ガスや騒音も気にならないであろう。林道の標高は 1,000m 以上。本日の気温は 18℃台であった。

増富の湯は、登山の疲れを十分に癒してくれるであろう。もちろん、十分に長湯を楽しむ。

- **名称**：増富ラジウム温泉郷 かけ流しの湯 増富の湯
- **所在地**：山梨県北杜市須玉町比志 6438
- **電話**：0551-20-6515
- **営業時間**：4月～11月は10：00～19：00、12月～3月は10：00～18：00
- **定休日**：5月～11月は第4水曜日、12月～4月は毎週水曜日
- **入浴料**：大人（中学生以上）700円、小人（4歳以上、小学生）500円
- **サウナ**：あり
- **テレビ**：なし
- **取材日**：2012年6月23日（土）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部